

# 関東長身選手発掘育成練習会 指導者心得

(全国中学生「長身選手発掘育成合宿」指導者心得から抜粋)

- 1 すべてのプレーヤーを育てる。特に経験が浅く、自信の持てないプレーヤーに声掛けをするように心がける。
- 2 指導者の立ち位置としては、プレーヤーと同じ方向を向いて。したがって、プレーヤーへの指示は、「～してください」「～しろ」ではなく、「～しよう」「～します」をなるべく使う。
- 3 気を働かせて動く。どのように動けばいいかわからない時は、それぞれの責任者に相談する。
- 4 指示系統を一本化する。責任者が知らないところで、勝手に集合させたり、ミーティングを行ったりしない。
- 5 指導者はプレーヤーの模範となるような行動を心掛ける。例えば、練習中に壁に寄りかかって座るとか指導者同士での雑談、スマホをいじるなどは、慎みたい。  
(スマホはフロア内に持参しないほうがいい。)
- 6 セッターとしての選手選考を行っていない。したがって、ゲーム練習でチームを作ったとき、セッターがいないチームができる可能性がある。どのプレーヤーにもセッターを学習する機会が与えられているととらえて臨ませたい。
- 7 誰でもできること 「一生懸命に取り組むこと」「全力で取り組むこと」「声を出すこと」を最初から最後まで徹底して指導し、選手・保護者・指導者・役員など関わっているすべての人が「成長することができた、来てよかった」と思えるような練習会になるよう、心がける。

関東ブロックの選手、指導者のレベルアップにつながるよう、よろしくお願いします。
---